

令和5年度事業報告

1 事務局

(1) 理事会・評議員会等の開催状況

令和5年度においては、次の理事会・評議員会等を開催し、議案の審議を行った。

会議名	開催年月日	議案	結果
第312回 理事会	R5.6.14	1 令和4年度事業報告及び収支決算の件 2 評議員選定委員会外部委員の選任の件 3 定時評議員会の開催の件 [報告] 1 令和4年度における職務執行状況について 2 公益財団法人JKA補助金交付決定について	1 可決 2 可決 3 可決
令和5年度 定時評議員会	R5.6.29	1 令和4年度事業報告及び収支決算の件 2 任期満了に伴う理事の選任の件 3 評議員選定委員会委員の選任の件 4 評議員の辞任に伴う補欠の評議員候補者の推薦の件 [報告] 1 第312回理事会の概要について	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決
第313回 理事会	R5.7.3	1 理事長の選定の件	1 可決
評議員選定 委員会	R5.7.3	1 評議員の辞任に伴う補欠の評議員の選任の件	1 可決
第314回 理事会	R6.3.8	1 令和5年度収支予算補正の件 2 令和6年度事業計画の件 3 令和6年度収支予算の件 4 評議員選定委員会外部委員の選任の件 5 臨時評議員会の開催の件 [報告] 1 令和5年度における職務執行状況について	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決 5 可決
令和5年度 臨時評議員会	R6.3.29	1 令和5年度収支予算補正の件 2 令和6年度事業計画の件 3 令和6年度収支予算の件 (書面による同意) [報告] 1 第314回理事会の概要について 2 令和5年度の経営目標達成状況等について	1 可決 2 可決 3 可決

(2) 施設の管理運営

毎月開催する経営会議、所属代表者会議等を通じ、大阪がん循環器病予防センターの事業について、効果的、効率的な管理運営を行った。

(3) 中期経営計画の推進

大阪がん循環器病予防センターの運営にあたっては、第3期中期経営計画（令和4年度～令和8年度）に定めた令和7年度に収支均衡を図るという目標に向けて進捗状況の把握・管理に努めた。

2 大阪がん循環器病予防センター

【がん予防検診事業】

〔がんの予防啓発事業、精度管理事業、がん検診・循環器病健診事業等を実施することにより、がん・循環器病予防とその普及啓発を図る事業（公1）〕

1 がん検診・検査事業

(1) がん検診

検診機関が不足している市町村や受診率が低い中小企業でのがん検診受診率の向上に資するため、当センターの施設や検診車において、厚生労働省の指針に基づく精度の高い胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診や、がん検診と循環器病健診を併せた総合健診、細胞診・組織診検査を行った。また、検（健）診や検査の実績は精度管理センター（※2）として市町村や民間がん検診機関等への指導・支援等に活かし、府民のがんの早期発見や健康維持に寄与した。

検診事業を行なうにあたっては経営目標を設定し、効率的な検診車の稼働と精度の高い検診を実施するとともに、評価の高い検診実施により、事業の安定化を図った。

（実施場所） 大阪がん循環器病予防センター、各市町村保健センター等

（検診内容） 胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、
大腸がん検診、総合健診、細胞診検査、組織診検査

（検診実績）	・胃がん検診	30,246件	[うち精密検査	1,158件]
	・子宮がん検診	18,358件	[うち精密検査	1,026件]
	・乳がん検診	24,663件	[うち精密検査	2,782件]
	・肺がん検診	20,442件	[うち精密検査	1,148件]
	・大腸がん検診	33,877件	[うち精密検査	5件]

・総合健診 18,194 件 [うち精密検査 774 件]
(循環器健診+がん検診等)

(資料：3 資料：4)

・細胞診検査 19,616 件
・組織診検査 578 件
・大腸便潜血検査 33,872 件

(2) 分析データの提供

がん予防に寄与するため、がん検診、細胞診検査等の結果について「年報」を作成し、国、大阪府、府内市町村、その他関係機関に提供した。

(提供先) 国(国立国会図書館・厚生労働省)、大阪府、府内市町村、国立がん研究センター、県立がんセンター、大阪府医師会・郡市区医師会、対がん協会、結核予防会等関係団体など

2 循環器病健診事業

特定健診の受診率の向上に寄与するため、がん検診と循環器病健診を併せた「総合健診」を行った。

また、受診者のうち、特定保健指導の対象とならないハイリスク者(腹囲・BMI 値が基準以下でも、他の要因により循環器病のおそれがある者)に対しても保健師又は管理栄養士による保健指導を行い、循環器病予防の推進に寄与した。

3 組織型検診推進事業 (受託事業)

府内の市町村及び民間がん検診機関の検診精度を高めることにより、府民が安心してがん検診を受診できる環境づくりを推進していくため、大阪府から委託を受け、「組織型検診推進事業(※1)」を実施した。実施にあたっては、当センターを府内における「精度管理センター(※2)」として精度の高いがん検診を広く府民に提供していくため、市町村や民間がん検診機関の行うがん検診の実態把握と医療スタッフ等の資質の向上等に向けた支援事業を行った。

※1 市町村において、住民基本台帳を活用し、正確ながん検診対象者台帳を作成し、個人ごとの受診状況等を把握した上で受診勧奨を行い、有効性が確立された精度の高いがん検診を実施するもの。

※2 民間がん検診機関の技術水準の評価・指導や市町村等の実施するがん検診に対する技術支援などを行う、府内唯一のセンター

(1) がん検診の精度管理基礎調査

各種がん検診の精度管理体制を確立するための基礎データとして、市町村が実施する胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診の検診成績を収集し、集計・解析等を行い、その結果をまとめた冊子「大阪府におけるがん検診」を作成した。

<「大阪府におけるがん検診」の作成・配布>

市町村に対し、各種がん検診にかかる精度管理基礎調査を毎年度実施し、府内における各種がん検診の実施状況、精度管理の実態等を集計・解析し作成した。府内の市町村・保健所、医師会・歯科医師会・薬剤師会等に無償で配布した。

(2) 市町村が実施するがん検診の実態調査・実地支援事業

市町村が実施するがん検診の実態把握を行い、精度管理の課題を抽出し、助言・提言等を行った。

<研修会の実施>

市町村がん検診担当者等を対象に、Web 配信による研修会を開催した。

(対象者) 市町村がん検診担当者(保健師・事務職員等)

(開催日) 令和5年12月15日～令和6年1月21日(Web配信)

(内容) ①がん検診事業評価報告書「がん検診事業のあり方について(案)(令和5年6月)の概要」

②精度管理センター事業紹介2023

③大阪府精度管理システム・受診者数管理システムと地域保健・健康増進事業報告の注意点について

④大阪府からのお知らせ

<電話による個別相談> 174件

(3) 組織型検診推進のための市町村支援事業

大阪府精度管理システムを運用して、収集したがん検診の個人別のデータ(個人名を除く受診者の性別・年齢・受診の有無・精検の要否・精検の結果等)を、分析・評価の上、受診率・精検受診率・要精検率等に課題のあるところには改善策の提案・助言を行い、受診率及び精度管理の向上を図った。

(個別支援) 21市町村、2地域(阪南地域、大東・四條畷地域)計29市町村(精検受診率の向上、精度管理委員会の開催、個別受診勧奨資材の提案、検診受診率向上についての効果検証などの支援を行った。)

4 受診促進事業

がん検診受診者の増加及び定着のため、社会保険の中で最も加入者が多い全国健康保険協会(以下協会けんぽ)被扶養者を対象に、特定健診の受診案内時に大腸がん検診キットを送付し、特定健診受診時に予約なしで受診でき

る大腸がん検診を実施し、その受診者に対するフォローアップを行い、受診の定着を図った。

(事業内容) 大阪府内2市の協会けんぽ被扶養者に対し、大腸がん検診を実施。受診者の傾向を検討し、次年度の検診受診につながるよう、受診勧奨はがきを作成する。

5 がん予防啓発事業

がんから府民の健康と生命を守るため、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善によりがんの発症を予防する一次予防、がんの早期発見、早期治療のための定期検診の重要性などがんの二次予防に関する知識の啓発、普及を行った。

(1) がん予防キャンペーンの実施

当財団をはじめ、関係9団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会(事務局:当財団)において、府民にがんに関する正しい知識・がん検診の必要性を啓発し、がんの早期発見につながる検診受診率の向上を目指し、がん予防キャンペーンを実施するとともに、府内の市町村を中心に「がん検診啓発DVD」「がん検診ポスター」の作成・配付、9月の「がん征圧月間」を中心に「がん検診啓発リーフレット」の配付など啓発活動を行った。Web上での講演動画の公開を行った。

(対象者) 府民
(配布部数) 「がん検診啓発リーフレット」「乳がん検診啓発リーフレット」等約10,000部
(周知方法) 財団ホームページ、チラシ等
(実施時期) 通年
(当財団の役割) 実行委員会において、キャンペーン内容の企画を行うほか、リーフレット等の作成、配布のための準備等、実行委員会の運営を行う。

<講演会>

(講演テーマ) 「子宮頸がん検診とHPVワクチン～未来のために大切なこと～」
(動画掲載場所) がん予防キャンペーン大阪2023サイト
(大阪がん循環器病予防センターホームページ内)
(掲載期間) 令和5年10月1日～令和6年3月31日
(閲覧数) 8,929回
(共催団体) 「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会の9団体
(役割分担) テーマは当財団と共催団体で企画し、広報、資料準備等は当財団が担当

(2) オンライン市民公開セミナーの実施

がん検診の早期発見、早期治療の重要性を府民に周知するために、専門医による講演をYouTubeにて配信した。

(講演テーマ) 「今増えている膵臓がんについて」他 全16テーマ

(閲覧数) 39,131回(令和6年3月末時点)

(3) 医療関係者等を対象とした講演等

医師、診療放射線技師等を対象に、がん予防、がん検診等について講演を行うとともに、医師等医療従事者の自己学習・研修に寄与するため、当センターで行う検(健)診への研修医等の受入れや症例検討会を行った。

<講演会等>

(対象者) 医師、診療放射線技師、臨床検査技師等

(周知方法) 主催団体の広報(ホームページ、ポスター、チラシ等)

(実績) 年8件(資料:2)

(実施場所) Web等

(講師) 医師、診療放射線技師等

6 調査・研究事業

検診精度の向上・普及を目的に、がん検診の技法やその有効性の評価に関する調査研究を行うとともに、厚生労働省等の研究班の研究協力者として共同研究を行った。調査研究の成果は、学会発表や学術講演、論文発表等により公表した。

(研究テーマの例)

・当センターでの発見癌からプレスト・アウェアネスの意義と普及を考える

(実績) 学会発表・学術講演:5件、著書・研究論文発表:4件、

厚生労働省等の研究費による研究班への参画:1件

7 研究助成

「がん予防対策基金研究助成制度」に基づき、寄附金を募るとともに、当該基金を財源として府内の保健関係者、医療関係者のがんの一次予防、二次予防に関する調査研究に対し助成を行い、府民のがんの予防及び早期発見の推進を図った。

(令和5年度 助成先(2件))

・乗原 佳宏氏(代表)(大阪国際がんセンター)

『検診等によるがん発見が生存率に及ぼす影響：年齢階級別および保険種別での検討』

- ・ 蓮尾 智之 氏(代表) (大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班)

『胃 X 線像における胃形（鉤状胃と非鉤状胃）の背景要因の検討』